

リハビリ便り

気圧や気温の変化により、体調を崩しやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は当院で行っている、**在宅サポート入院**についてご紹介いたします。

在宅サポート入院とは？

介護者の日々の介護疲れや精神的な負担などによりご自宅での生活が困難となることを防ぎ、ご自宅にて少しでも長く生活が続けられるようサポートする取り組みとなります。

対象となる方の例

○胃瘻・人工呼吸器など、常時医学的管理が必要なため受け入れ先が限られる。
○食事中にむせこむことが増えたので、飲み込みの訓練をしてほしい。
○身体機能が低下し、自宅内での移動が大変になった。

入院の時のポイント

☆個別リハビリの実施

一日40分間の個別リハビリを毎日受けることが出来ます。バランス・歩行テストなどを定期的に実施しながら、身体機能や生活機能の維持向上を図っています。

☆在宅を意識した生活

入院に伴う活動量の低下を防ぐため、在宅での生活と同様の生活となるよう入院中はできる限りベッドから起きて生活して頂く事を意識しています。そのため、なるべく歩いてトイレに行ったり、車椅子に離床した状態での食事摂取や、**集団活動**への参加を促しています。



〈食事の様子〉

☆集団活動

個別リハビリ以外の時間でも活動量を確保出来る様に、運動や脳トレ、口腔嚥下体操など、集団での活動を行っています。患者さん同士が交流できる場にもなっています。



〈集団活動の様子〉

おわりに

在宅サポート入院の受け入れ期間は最大2週間程度となっています。ベッドの空き状況によっては受け入れに時間を要することがあります。利用を検討されている方は、担当ケアマネジャー・訪問看護師などを通じて当院地域連携室（057-01034577）までご連絡ください。

（理学療法士 飯田・篠田）

お知らせ

訪問リハビリテーション

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等を行います。

問い合わせ先：リハビリテーション課 担当者：安東

電話：0570-034577（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。

